

事例 16 土佐備長炭の原料となるウバメガシの植樹祭

(四国森林管理局 安芸森林管理署)



- 高知県 安芸郡
東洋町（とうようちょう）
別役南山
（べっちゃんくみなみやま）国有林
- ウバメガシの苗木を植栽する様子

高知県東部の特産品である土佐備長炭は、地元で生育するウバメガシを原料に生産されてきましたが、近年は地域内の資源の減少により地域外から原木を調達しなければならない状況にあります。このため、四国森林管理局安芸森林管理署では、ウバメガシの苗木育成を含めたウバメガシ林の再生に取り組んでいます。

令和元年度には、東洋町の別役南山国有林において、地域の方にも参加いただいてウバメガシ植樹祭を開催しました。植樹には、安芸森林管理署が国有林野から採取した種子をもとに3年かけて育成した苗木2,100本を使用し、自治体関係者などの参加者が植樹作業を通じて、ウバメガシ林の再生について理解を深めてもらいました。

今後も、地域住民が森林について理解を深める活動として植樹祭等を行っていけるよう、国有林野を提供していくこととしています。